

警 察 署 協 議 会 会 議 録

早良警察署協議会

開催年月日時	平成 27年10月1日 午後 4時10分 から 平成 27年10月1日 午後 5時40分 まで	
開催場所	4階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、 地域管理官、刑事管理官、交通管理官、 警備課長、総務第二課長、被害者支援係長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最近の新聞やニュース等では事件事故が多発している状況であり、管内を注目しているが、全体的に交通事故関係やニセ電話詐欺関連の件数が若干増加しており、対策が必要と考える。 ○ 県内全体では暴力団の追放に関して、県警本部長が中心となり強力な取組により成果が上がっており、今後、皆様の協力を一層いただき、市民が安心して安全で生活できる環境をつくって行かなければならないと考える。 ○ 若手警察官の決意表明が予定されており、協議会委員の皆様からのご支援、ご指導をしていただければ立派な警察官として成長してくれると考えている。 <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最近、他県で殺人事件等の凶悪事件が発生している状況であるが、福岡県下、早良警察署管内においても、特別捜査本部を設置するような重要事件の発生はない。 ○ 早良警察署管内の状況として、交通死亡事故者数も含め、発生状況、けが人等が多発している状況であり、最近の主な事案として、美容室で刃物を持ち、スプレー様の物をかけ逃走した強盗犯人を、直ぐさま駆けつけたパトカーや交番の警察官が発見し現行犯逮捕した事案、9月1日には、一般人からの「車上ねらい」の通報により駆けつけた警察官が現行犯逮捕した事案、9月25日には、裸で大声を出している精神疾患者に対する警察官の素早い適切な対応など多様な現場で職責を自覚し頑張っているところである。 ○ 本日は、福岡県警察職員の非違事案に関し、皆様方にお詫び、報告する事案がある。 		

議 事 概 要

今年の7月に、警察官は飲酒運転で現行犯逮捕された事案、その翌日には逮捕までには至らない基準値未満数値の飲酒運転で警告した事案があった。

8月には、青少年健全育成条例違反で逮捕された事案があり、法を適用、執行していく立場の警察官が違反行為をしている。

○ 小郡警察署員及び柳川警察署員による飲酒運転事案の概要については、

・ 関係職員

① 小郡警察署 地域課 警部補 49歳

② 柳川警察署 地域課 警部補 58歳

・ 処分年月日

平成27年の7月23日

・ 処分内容

① 免職

② 戒告

・ 事案概要

① 酒気を帯び呼気1リットルにつき、0.59ミリigramのアルコールを身体に保有した状態で、平成27年7月4日、午前0時34分ころ、糟屋郡粕屋町長者原において、軽四輪乗用自動車を運転し現行犯逮捕

② 酒気を帯び呼気1リットルにつき、0.13ミリigramのアルコールを身体に保有した状態で、平成27年7月5日、午後7時17分ころ、八女市蒲原の大型量販店駐車場内において、普通乗用自動車を運転したものであり、呼気が0.15ミリigramの検挙基準値未満であったことから指導措置

○ 再発防止対策等

このような事案を受け、全職員に対して、「規律の振粛の徹底について」の本部長通達指導文書が発出され、再発防止対策として、全県下で職員の身上関係の把握の徹底を図るため、職員個々の弱点（お酒、異性関係、お金）の有無を含め、身上把握活動を推進しているところであり、早良警察署員の一人一人が警察官としての自覚を持ち、地域のため職責を果たしていくよう引き続き、一丸となって指導、教養をやっていきたいと考えており、警察署協議会の委員の皆様からも再発、防止に向けてのアドバイスを受けたい。

【各課からの報告等】

1 ニセ電話詐欺対策について〔生活安全管理官〕

(1) ニセ電話詐欺の被害状況等（1～7月）

ア 全国 約278.5億円（平成26年中 約565.4億）

イ 福岡県 約13.9億円（平成26年中 約12.9億）

ウ 早良署 約7,300万円（平成26年中 約7,300万円）

議 事 概 要

(2) 問題点・懸案事項

- ア 被害の高齢化
- イ 手口（話術）の多様化
- ウ 手口（詐術）の巧妙化
- エ 金銭を渡す手段の不定形化

(3) ニセ電話詐欺対策の三本柱

ア 自己防衛対策

- ・ 孫プロジェクト作戦（孫世代からの発信力・地域の絆を強化）
- ・ 電話でお金は全て詐欺（各種会合、各種媒体を活用した広報啓発）
- ・ 詐欺撃退機器の整備（警告、録音等の機能を搭載）

イ 防止環境対策

- ・ ニセ電話気づかせ隊（被害者等への声掛け・被害防止への広報啓発）
- ・ 無人ATM対策（第三者に対する協力依頼、ポスター掲示）
- ・ 金融機関対策（高齢者の高額出金に注意喚起）

ウ 犯人検挙対策

- ・ 騙されたフリ作戦（騙されたフリで誘い出し・犯人の現行犯逮捕）

2 性犯罪の検挙対策について〔刑事管理官〕

(1) 福岡県の現状（人口10万人当たりの犯罪率）

- ・ 性犯罪 ～ 全国2位
- ・ 強姦 ～ 全国1位
- ・ 強制わいせつ ～ 全国2位

(2) 検挙事例

- ・ 防犯カメラにより、路上強制わいせつ事件被疑者を検挙

3 8月末における交通事故発生状況について〔交通管理官〕

※ 早良・城南交通安全情報（平成27年8月末現在）

- (1) 地区別交通事故発生状況
- (2) 関連別（高齢者・飲酒・自転車）交通事故発生状況
- (3) 校区別交通事故発生状況
- (4) 交番・駐在所別交通事故発生状況
- (5) 交通死亡事故概要

4 テロの未然防止と災害対策の強化について

(1) テロの未然防止

- ・ サイバー攻撃対策の推進
- ・ 右翼対策等の推進
- ・ 極左暴力集団対策の推進
- ・ オウム真理教対策の推進
- ・ 国際テロ対策の推進

議 事 概 要

(2) 災害対策の強化

- ・ 災害に係る危機管理体制の再構築
- ・ 関連機関と連携した災害対策訓練の実施
- ・ 災害対策に関する広報活動の推進

5 若手警察官の決意表明（3名）

警察官を目指した動機、警察官となつての感想、目指す警察官像について

【報告事項等に対する質疑応答等】

- 委員から、強制わいせつ事件の件数が増加傾向であるが、管内は多数の大学生が在籍しており心配である。

また、ある病院では深夜出勤の看護師に、変質者が連続出沒したことから、県警のOBの方を出前講座に招き防犯ブザーの効用等の防犯指導を受け、防犯ブザーを配分したところ、以降は不審事案がなくなったと聞いている。

そこで、「学生等が入学する際に性犯罪に遭わないための防犯指導等について警察のアドバイス等があればお願いします。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「管内にある中村学園大学、福岡大学、西南学院大学の新入学生に対して、防犯関係や交通安全関係の講座を定期的の実施しており、また大学から依頼があれば赴き、防犯指導等の講話をしている。特に、福岡大学で言えば関係職員に対し、長期スパンで実務を交えて防犯指導を実施しており、今後も引き続き実施していきたいと考えている。参考で、高校のSDE（SELF：自己 DEFENCE：防衛 EDUCATION：教育）という教育があるが、懸念されるのが、防犯ブザーの格好が悪いという意見があり、その改善点について検討し、防犯ブザーの効用を広く一般に伝えていきたい。」旨の回答があった。

- 委員から、災害対策関係で、「平成27年8月、台風15号発生時に災害対策本部が設置され、脇山地区及び椎葉地区周辺に避難指示が発せられ、一部決壊の被害もあった。この時早良警察署にも連絡し、地域住民も避難できるように、公民館、小学校、高校などの避難所を開設したが、公共機関が止まっている状況の中で、担当する職員の派遣が困難な状況であった。また、河川の判断に伴う周辺地区の避難指示については、集中豪雨の時は非常に難しいところがあり、今回、大きな被害には至らなかったが、このような状況の中では警察、消防等と連携をとり、地域に周知できるように努力していきたいと考えているので協力をお願いしたい。」旨の協力要請があった。

- 委員から、「ニセ電話詐欺について、一人当たりの被害額が約一千万円とあるが、一回の引き出す限度額100万円と考えると、分割で銀行引き落とし送金していると思われるが、実態はどうか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「銀行のATMは限度額が決まっているが、犯人は振込む銀行口座等を言葉巧

議 事 概 要

みに変更してお金を振込ませるなど多種多様であり、分割、複数回の振り込みもあれば、タンス預金などもあり、お金の出所についても事案によって変わる。現在、銀行等と連携し、情報を得ながらいろんな対策をとっているが、現状は数回に分けて多額の被害が出ていることから、今後とも関係機関と連携を図りながら、ニセ電話詐欺対策（自己防衛対策、防止環境対策、犯人検挙対策）を推進し撲滅を図っていきたい。」旨の回答があった。

【会長総括（要旨）】

- 今日、冒頭から警察官の非違事案の話から、早良署で取り組んでいるニセ電話の問題、交通事故の多発の問題、最後に若手警察官の新たな決意を表明していただいた。
- 若手警察官3名の方は、警察官としての強い決意を表明し、すばらしい気持ちを持って警察官になられたという思いをしている。
- 残念ながら警察官の非違事案について報告があったが、このような裏切り行為があれば数多いまじめな警察官の信頼を一度で失う思いであるので、二度とない状況をつくってもらいたい。
- 地域の安全と安心のための取組みに対して、警察署協議会の委員として、積極的に関わり、より良い早良警察署管内にしていきたい。

【閉会】

以上で、第3回早良警察署協議会を閉会する。